

かみつけの  
**上毛野はにわの里公園ガイド**

当館の周囲は大きな公園となっています。古墳時代の群馬県地域が上毛野と呼ばれたことにちなんだネーミングです。博物館や文学館、二子山古墳、八幡塚古墳、はにわ工房など見どころいっぱいです。休憩棟や駐車場も整備されています。



- 国指定史跡 保渡田古墳群**  
 二子山古墳・八幡塚古墳・薬師塚古墳の3つの前方後円墳の総称です。榛名山東南麓を治めた有力な豪族たちの墓所です。昭和60年9月3日に国指定史跡となりました。
- 薬師塚古墳**  
 保渡田古墳群で最後に造られました。大きな石棺がみられます。
- 八幡塚古墳の石棺展示室**  
 見学時間 9:30～16:30  
 (博物館の休館日は見学できません)
- 群馬県立土屋文明記念文学館**  
 高崎市保渡田町出身の歌人・土屋文明に関する展示の他、文学系の企画展を行っています。
- 休憩棟・はにわ工房・はにわ窯**  
 休憩棟では140人が休めます。勾玉づくりなどの体験スペースとしても使用しています。
- かみつけの里博物館**  
 保渡田古墳群の造られた頃の世界を、楽しみながら学習できます。実物のはにわや金のクツ、復元模型などがあります。企画展も行なっています。



ほ ど な  
**保渡田古墳群とは**  
 榛名山東南麓の井野川上流域にある、3基の前方後円墳の総称です。それらは、5世紀後半から6世紀初頭にかけて、二子山古墳→八幡塚古墳→薬師塚古墳の順で造られました。当時の東日本において、きわめて優勢であった豪族たちの墓所として、国指定史跡に指定されています。



**はにわ 埴輪列と埴輪の立て直し**  
 埴輪の立て直しは、古墳の管理が一定期間続けて行われていたことを示しています。

**中島**  
 堀のなかに直径約18mの円い島が4つ造られています。ここは、古墳被葬者に対するマツリ(葬送儀礼)がおこなわれた場所のようです。



ふたごやま  
**二子山古墳**  
 本古墳群のなかで最初の、5世紀第3四半期ごろに築造されました。昭和5年、帝室博物館(現東京国立博物館)の後藤守一が初めて発掘し、内堤から埴輪片などを発見しています。平成15～17年には史跡整備の調査を行い、朝鮮半島製を含む多量の遺物が見つかりました。



**王の眠る棺一舟形石棺**  
 後円部頂上の1m地中には、実物の石棺が保存されています。ここでは、実物大の石棺写真が見学できます。

**三段に築かれた墳丘**  
 土を厚く盛りあげた墳丘は、斜面に葦石が積まれ、斜面間の平坦面には円筒埴輪が列となって並べられました。復元整備では、コグマ笹を植え墳丘を保護しています。

**二子山古墳データファイル:** 墳丘全長108m/墳丘推定高9-10m/墓域の全長約213m/墓域30,000㎡/埋葬施設①舟形石棺②竪穴式石槨/出土品・金銅製馬具・金製装飾具・大型円筒埴輪・在産須恵器

はちまんづか  
**八幡塚古墳**  
 八幡塚古墳は、5世紀後半に築造された大きな前方後円墳です。八幡塚古墳は発掘調査の結果にもとづいて、造られた当時の形に復元されました。往時の古墳とは、石と埴輪で飾られ、遠くからも白く浮き立つ構造物だったのです。



**列になった円筒埴輪**  
 筒形の埴輪が古墳を囲んで並びます。古墳を悪霊から守る垣根だと考えられます。



**中島**  
 堀のなかに円い島が4つ造られています。ここは、古墳被葬者に対するマツリ(葬送儀礼)がおこなわれた場所のようです。



**人物・動物埴輪を並べた区画**  
 当時の様々な儀式の様子が埴輪で表されています。宴会や狩猟の様子などの場面がみられます。

**八幡塚古墳データファイル:** 墳丘全長96m/墳丘推定高8m/墓域の全長約190m/埋葬施設①舟形石棺②竪穴式石槨/盛土の量14,500㎡/円筒埴輪の数・推定6,000本/葦石の数・推定398,000個/出土品・碧玉製管玉・ガラス製勾玉・ガラス小玉・挂甲・鉄製農耕具類



**王の眠る棺一舟形石棺**  
 頂上から内部へ降りると大きな石の棺があります。豪族が眠った巨大な棺です。石棺展示室(博物館の休館日は見学できません) 見学時間 9:30～16:30



**こわい顔の埴輪**  
 古墳の一番外には、盾を構え、こわい顔をした兵士の埴輪が並んでいます。古墳を悪霊から守るガードマンの埴輪です。



information

かみつけの里博物館  
The Kamitsukeno-sato Museum of Archaeology



